

令和3年度 青山中学校グランドデザイン

学校教育目標

【自立】自ら考え判断し行動できる人 【共生】思いやりの心もち協働できる人 【創造】深く考え創造できる人

令和3年度重点目標「聴く力 見る力 考える力 つなげる力」

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ①人権教育の推進と道徳授業の充実 | ⑤オリンピック・パラリンピック教育の充実 |
| ②「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善 | ⑥進路指導（キャリア教育と社会体験活動）の充実 |
| ③予防的生活指導の実践と教育相談の充実 | ⑦健康・安全・食に関する指導の充実 |
| ④不登校対応と特別支援教育の充実 | ⑧家庭・地域との連携 |

思いやりの心もち協働できる人(豊かな心)

- ①豊かな人間関係の育成
- ②教育活動全体を通じた道徳教育の充実
- ③学級経営の充実
- ④生活指導の充実
- ⑤特別活動の充実
- ⑥いじめ・不登校対策の充実
- ⑦オリンピック・パラリンピック教育の充実

深く考え創造できる人(健康・体力)

- ①探究的活動を通じた課題発見・解決能力の育成
- ②進路・キャリア教育の充実
- ③食育の推進
- ④安全教育の推進
- ⑤心身の健康の保持増進

自ら考え判断し行動できる人(確かな学力)

何ができるようになるか ○育成を目指す資質・能力

- ①言葉や情報を使いこなす能力
- ②自分をコントロールする能力
- ③多様な集団の中で協働する能力
- ④現代的な諸課題に対応する能力
・健康・安全・食に関する課題に対応する資質・能力

何が身についたか ○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面を工夫し、学習の課程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図る。
- ②パフォーマンス評価等、多面的・多角的な評価の実践
- ③相互評価や自己評価(キャリア・パスポート等)の活用
- ④ポートフォリオなど形成的な評価の活用

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ①基礎的・基本的な知識・技能
- ②学習の基盤となる言語能力・情報活用能力(情報モラル含)・課題発見・解決能力
- ③現代的な課題(健康・安全・食に関する力、心の健康の保持増進に関する力)に対応する資質・能力
- ④人権教育の推進と「考え議論する」道徳授業の充実
- ⑤総合的な学習の時間の充実による思考力・判断力・表現力の育成
- ⑥オリンピック・パラリンピック教育の充実

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- ①主体的・対話的で深い学びの実現のための授業改善
- ②見方・考え方を働かせた学習活動の充実
- ③言語環境の整備と言語活動の充実
- ④単元計画の工夫と単元配列表の活用
- ⑤朝読書の定着と学校図書館の充実・活用
- ⑥ICT機器の活用と情報活用能力の育成(情報モラル含む)
- ⑦自主的、主体的な取り組みを行う特別活動の充実

子どもの実態

・素直で明るく活発であるが、協調性や自ら行動する意欲が乏しく、物事を公的な視点から見る能力欠ける。
・地域の小学校から単学級に在籍の生徒がいる反面、他地域からの転入生徒も増加している。
・指示を素直に受け止めることができる。
・進路選択に熱心な生徒が多い。

子どもの発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子どもへの指導

- ①確かな生徒理解に基づいた信頼関係を基盤とした学級経営の充実
- ②集団指導と個別指導を充実させた生活指導
- ③学校の教育活動全体を通じた進路指導・キャリア教育の充実
- ④h-QUの活用、授業UD化等、個に応じた指導の充実
- ⑤個別的教育支援計画、指導計画の作成と活用した特別支援教育の充実
- ⑥きめ細やかな個に応じた対応を充実させた不登校生徒対応。

目指す子どもの姿

- ・向上心をもって真剣に学習する生徒
- ・場に応じた言動ができる生徒
- ・思いやりの心もち貢献できる生徒

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------|
| ①教員の資質・能力の向上を図る校内研修の実施 | ⑦青山高校との連携 |
| ②地域学校協働本部の設置と地域コーディネーターの確保 | ⑧カリキュラム・マネジメントの実現(外部人材の活用) |
| ③青山アカデミーである青山小学校、青南小学校、青南幼稚園との連携 | ⑨部活動の活性化と部活動指導員・外部指導員の活用 |
| ④道徳教育推進(指導の重点、豊かな体験の充実、家庭、地域との連携・協働) | |
| ⑤家庭学習の習慣化(タブレットの活用) | |
| ⑥都立青山特別支援学校との交流 | |

安心・安全

- ①いじめの未然防止、早期発見、早期解決のため「いじめ防止対策協議会」を設置し、組織的対応を推進する。
- ②危機管理の徹底
- ③スクールカウンセラーの活用等教育相談の充実
- ④地域と連携した防災訓練の実施

開かれた学校づくり

- ①ホームページ・ツイッターの充実
- ②学校だより、学年だより、保健だより、給食だより、図書室だよりなどの広報活動の充実
- ③学校公開における参観者の増加
- ③学校評議員制度の活性化
- ④地域との連携・行事への参加